

# 評価報告概要表

## ■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成27年11月27日（金）

## ■福祉サービス事業者情報

名 称	特別養護老人ホーム オアシスはぎ園	種 別	特別養護老人ホーム
代表者氏名	施設長 吉本眞司	開設年月日	昭和54年11月1日
設置者	社会福祉法人 山口県社会福祉事業団	定員(利用人数)	116名
所在地	〒759-3611 萩市大井1723-6		
電話番号	0838-28-0088	FAX番号	0838-28-0274
ホームページアドレス	<a href="mailto:hagi@jigvotan-vg.jp">hagi@jigvotan-vg.jp</a>		

## ■総 評

### 全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

#### ◇特に評価の高い点

法人の基本理念のもと、中・長期計画及び年度計画に沿って、職員が一丸となって目標達成に取り組んでおられる姿勢は、施設の活力を感じました。今回の第三者評価は四度目の受審であり、前回の評価を真摯に捉え、課題を積極的に取り組んでおられるのが、高く評価できます。

今年度、職員個々に研修カードを作成、一人ひとりの目標達成のために、希望する研修の受講や資格取得に向け、努力されていることは、管理者として高く評価されます。利用者サービスの質の向上についても、繰り返し指導力を発揮し、会議等で情報提供や検討会の中で、職員の意識向上に繋がるよう常に努力されていました。今後もより質の高いケアを提供するために、満足度調査や外部調査を継続されることを期待します。

また地域の高齢者福祉に対する貢献度は高く評価され、職員全体にその意識が高まっているのが伺えます。今後益々積極的に取り組まれ、中核的役割を発揮されることを期待します。

#### ◇改善を求められる点

施設の築年数による不便さはあると思いますが、居室の内装で外部から見ると気になる箇所があり、今後、工夫された方が良いかと思えます。トイレの環境(臭気、汚物の取り扱い等)についても整備の必要性を感じました。

また支援計画書の評価については、担当者によって個人差があるかと思えますので、ケア会議等で修正され、質の高いサービス提供に繋げて下さい。

## ■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

今回で4回目の受審となりますが、受審の都度、課題の改善に園全体で取り組み、改善できたと思っても新たな課題がみつきり、また改善に向けて取り組んでいます。

利用者本位の質の高いサービスの提供とは、まさにこの課題の発見、改善、継続の繰り返しと改めて認識する次第です。

また、受審により、課題だけでなく園の強みも明確になり、この強みを施設運営に積極的に生かしていくことも今後の重要な課題です。

当園は、「その人らしさを大切に」の理念の下、地域に根差し、医療、介護が連携を図り、利用者を尊重したサービスの提供ができるように努めておりますが、今後も利用者、家族が安心できる施設を目指し、さらなる取組を進めてまいります。

# 評価報告概要表

## ■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	9	b	0	c	0	Na	0
<p>法人理念とする「その人らしさを大切に」を基本とし、その方針や考え方は明文化され、非常勤を含む職員全体にもその理念は周知徹底されており、管理者としての役割・責務も明確であり評価できる点と思われまます。</p> <p>事業運営は中・長期計画にも反映され計画的に行われている状況下、環境の変化にも敏感に対応する等の取組は積極的であることが文書、聞き取りからも読み取れました。</p>								

II 組織の運営管理	a	17	b	1	c	0	Na	0
<p>事業運営する際の管理者としての責任の重要性は、職員会議、リーダー会議等で情報発信するとともに目標、課題等に対しても問題意識が共有できるよう周知が図られています。</p> <p>人事管理においては、実質的には本部にて行われる状況にありながらも施設の充実のため、人材確保のために地域との交流を深めるなど奔走、苦慮されておられることは理解できました。</p> <p>困難な面も多々あることと理解できますが、尚一層の工夫・対策を講じられます事を期待しています。</p>								

III 適切な福祉サービスの実施	a	17	b	1	c	0	Na	0
<p>サービス提供のための体制や規定・マニュアル等は、引き続き良く整備されています。</p> <p>利用者尊重の基本姿勢及びその取組は積極的であり、施設長・職員間においても共通の認識と理解のもと実施されていることが施設の状況、書面上、聞き取りからも確認できました。</p> <p>3回目の受審後からのその努力や改善状況から大いに評価できると思われまます。</p>								

IV 良質な個別サービスの実施	a	30	b	4	c	0	Na	0
<p>標準化された各種の福祉サービスは、利用者の体調や要望等において支援が柔軟に行われていました。</p> <p>問題発生時は各々で情報提供、または問題提起、協議され速やかな解決が図られる等、その対応はきめ細やかで評価できる点だと思われまます。また終末期の支援は家族と相談の上、利用者個々に配慮した支援がされています。</p> <p>これからも利用者の意思の尊重やプライバシーの確保については、さらなる努力を期待します。</p>								